



黒川 悟 議員

活気あるまちづくりの 推進を

答 次の100年に向け活力あふれる
まちづくりに取り組む

問 一本松公園の整備は来園者の増加に繋がる事業であり、特にトイレ改修については長年要望してきた経緯がある。公園施設の長寿命化計画に基づく改修及び一本松公園トイレ改修の進捗状況は。

答 建設都市計画課長 都市公園の施設や遊具等は、部材の摩耗状況や変形等の劣化点検を行っている。一本松公園トイレは、年内完成に向け工事を進めている。また猫石側トイレについても、平成31年度の交付金を活用し、建築設計の計画に着手している。

問 一本松公園の利用状況は。

答 課長 平成30年度7月から9月までに確認できている来園者総数は、約1万3千人。内訳は、日帰り来園者が全体の約93%と多く、バンガロー宿泊が約3%、テント宿泊が

約4%となっており、全体の約7割が町外来園者となっている。

問 官民連携による一本松公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査の進捗は。

答 まちづくり課長 福岡大学の教授をはじめ、関係団体の代表者と懇談する中、一本松公園をイメージした概略設計及び基本構想を作成した。

実現性やニーズ等を探るため、公園利用者等に対するヒヤリングや分析、キャンプ場の運営等に実績がある事業者へのPRや意向調査及び公園範囲外の隣接地の所有者との意見交換を行った。検証結果や利用者事業者から寄せられた意見を検討、研究し、活性化をめざしたい。

問 100周年を迎える宮崎県都農町と今後

の友好、協力関係を続けるためには。

答 100周年事業推進事務局長 商工会の特産物開発等、行政交流にとどまらず、民間交流していくことで、相乗効果が生まれると思う。姉妹都市協定書締結については、慎重に進め、お互いの気持ちと同じであれば先方と協議をし、しかるべき時期に判断したいと思う。

問 商工会がJR宇美駅前広場で、うみカフェを開催している。今後マルシェやフリーマーケット、ライブ等で、賑わう空間となればと思うが。

答 まちづくり課長 8月31日夕方、うみカフェが開催され、大盛況であった。今後、ライブ等も含め、人が集まる賑わい広場になればと思う。

問 宇美町の中心市街

地の今後について

答 町長 公共施設再配置計画との整合性を検討するとともに、人口減少も見据え、定住・交流人口の増加を図っていきたい。



うみカフェの様子

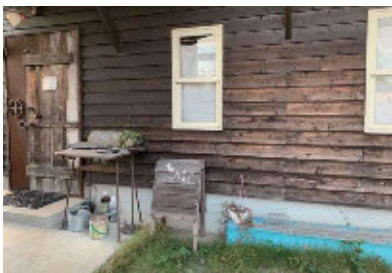


平野 龍彦 議員

空き家を 古民家カフェへ

答 所有者同意の制度を 検討する

- 問** 宇美町は近隣自治体に先んじて空き家バンクを導入してきたが、この1年で空き家は48軒ほど増加している。空き家対策協議会長でもある町長の考えを。
- 答** 町長 1軒でも2軒でも解消に向けて適切な措置を講じる。
- 問** 昨年の空き家は150軒ほどであったが、現在は198軒まで増えている、これまでの空き家解消軒数は。
- 答** 環境課長 空き家の解消は98軒。
- 問** 空き家の予防策の提案として、一人暮らしの高齢者への声かけと、また納税通知書に予防啓発のチラシを。
- 答** 課長 所有者への意識啓発のため、関係課と協議をする。
- 問** 空き家バンクの成約は7軒。次の登録は。
- 答** 課長 現在5軒申請調査をしている。
- 問** 空き家バンク登録を検討している約30人の方との面談と会話が重要では。
- 答** 課長 直接訪問にさらに力を入れる。
- 問** 空き家を古民家カフェへ再生したい希望者がいるが、空き家を見れる制度を。
- 答** 課長 アンケートに一文を入れる等所有者の同意を取る制度を検討する。
- 問** 総務省推進の地域おこし協力隊募集により専任職員を配置し、空き家発生予防の相談サポート窓口を。
- 答** 課長 先進自治体を調査研究する。
- 問** 空き家所有者と希望者とのマッチングの機会を。
- 答** 課長 空き家バンクがマッチングの機会である。
- 問** 認定漏れ空き家が
- 答** あり。水道閉栓、通学路情報などから調査ができるのでは。
- 問** 空き家の屋根が台風で飛ばされ、近隣のマイカーに激突した車輛被害と人的被害の未然防止のためにも、危険な空き家の解消を。
- 答** 課長 登記簿より所有者を把握し定期巡回を重ね、関係先と解消に向けて協議中。
- 問** 通学路沿いにある危険な空き家に子どもが侵入している。ネット張りなどの応急措置を。
- 答** 総務課長 1日も早く対応する。
- 問** シロアリ発生の空き家がある。有害・普通・良好の3ランクでの効率的な管理を。
- 答** 環境課長 ランク毎のリストを作成する。
- 問** 所有者不明の空き家は11軒あるが、相続財産管理制度の活用を。
- 答** 課長 租税債権がある税務課と連携を図り取り組む。
- 問** 国・県の空き家モデル促進事業を活用した宗像市は空き家予防対策事業を展開している。本町でもできないか。
- 答** 課長 県の空き家対策協議会に参加しており、モデル事業の申請はしていない。
- 問** 国交省の空き家譲渡所得3千万円特別控除の推進を。
- 答** 課長 制度紹介のチラシで周知する。



空き家を再生した古民家カフェ